

平成 24 年 4 月 18 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

## TOMODACHI Initiative への参画について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(取締役社長 永易 克典<sup>ながやす かつのり</sup>、以下 MUFG)は、米国政府と米国の非営利公益法人米日カウンシルが主導する日米交流事業 TOMODACHI Initiative に参画し、「日米相互交流プログラム」を立ち上げることにいたしましたので、お知らせいたします。

### 1. TOMODACHI Initiative

TOMODACHI Initiative は、東日本大震災からの日本の復興を支援するとともに、長期にわたり日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深めるかたちで、両国の将来の世代に投資を行う官民パートナーシップです。TOMODACHI Initiative の重点活動分野のひとつである教育分野では、日米留学生数の増加、日米間の文化的理解と文化体験の推進等の目標を掲げています。

### 2. 日米相互交流プログラム

(1) MUFG は、TOMODACHI Initiative の趣旨に賛同し、東日本大震災の被災地の中学生・高校生・教員を中心に米国の学生・教員と相互交流を行う「日米相互交流プログラム」を立ち上げます。

本プログラムを実施するため、MUFG グループ 6 社が TOMODACHI Initiative に寄付を行います。

株式会社三菱東京 UFJ 銀行	三菱 UFJ ニコス株式会社
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	三菱 UFJ リース株式会社
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社	ユニオンバンク

(2) 本プログラムの目的、対象者および概要は以下のとおりです。

目的	日本と米国の学生・教員が、双方の文化、リーダーシップの考え方、企業およびコミュニティのあり方を学びながら、現地の生活に触れ、異文化理解を深めることを目的とします。
対象者 (予定)	日本から米国への派遣対象者は、東日本大震災の被災地におけるユネスコスクール加盟校の中学生・高校生・教員および「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金(※)」の奨学生を予定しています。
概要 (予定)	①期間 3 年のプログラムで、日本から米国への学生・教員の派遣、日本の学生・教員が米国滞在時に交流する学生・教員の日本への招待を柱に実施予定です。 ②MUFG グループ各社は、日米双方の拠点で学生・教員の訪問を受け入れることで、金融教育、キャリア教育の機会を提供いたします。 ③本プログラムは TOMODACHI Initiative、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟ならびに関係機関の協力を得て実施いたします。

※「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金(30 億円)」は、三菱東京 UFJ 銀行と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が創設し、奨学金の給付等、被災地の中長期的な復興支援に取り組んでいます。

(3) 本プログラムの詳細や日程、申し込み方法等は、決まり次第、改めて MUFG および TOMODACHI Initiative のホームページ等を通じてお知らせいたします。

今後とも、MUFG グループは、被災地の支援に継続的に取り組んでまいります。

以 上